慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	世界の石炭産額と消費
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.2 (1913. 4) ,p.400(184)- 404(188)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130422-0184

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

り。

上記の如き貸換の生じたるときに、外國銀行支店は新たに貸出を爲すものなるやと云ふに、市場に新資金を輸入する場合に於てのみ然りと答ふることを得べし。若し外國銀行支店が其の取引せる倫敦の或銀行より預金を引出し、或は又外國より倫敦に宛て振出したる要求拂爲替手形の支拂を求むるとせば、此際に於ける資金の出入は單に移動を意味するに外ならず。されど、實際に短期貸付資金を增加せしむれば、夫れ丈倫敦市場を潤ほすものなりとす。卽ち外國銀行支店が金貸又は地金を輸入するとき是れなり。此金貸又は地金の到着するや、否や英蘭銀行に於ける外國銀行支店の貸勘定は其額丈增加するることゝなり、後者は直ちに之を短期貸付として放出するに至るべければ、此方法に依る短期貸付資金の增加が貸付の膨脹を意味するものなることは明かなり

四〇〇 世界の石炭產額と消費

本篇は『エコノミスト』所載の World's Coal と題する一論文の梗概なり。

昨年三月に於ける炭鑛々夫同罷盟工は端なくも英國の炭鑛事業が如何に重要なるものなるかを明かにせり。石炭の代用物の生產販賣に從事せる者は此機關を利用して、石炭が石油及び他の液體燃料と比較すれば不便、不潔且つ其他の弱點を有する燃料なることを指摘するに力めたり。其の結果、此等の燃料に就きて種々の實驗行はれたるが、石油は汽船のみならず汽關車に用ゆる動力用としても石炭の代用物として有望なるものなることを發見せり。然りと雖も、石炭が重要なる產物たるの資格を失ふに至るべきは遠き將來のことにして、過去に於て英國の炭鑛が秘露の鑛山又はニーラ・ムーラ山の麓に於ける金剛石の產地よりも一層貴重なる富源なりしが如く、將來に於ても亦英國製造業繁榮の一

大要素たるべし。左表は英國に於ける石炭產額と諸外國に於ける石炭產額とを比較せるものなりとす。

世界の石炭の產額

單位百萬噸

年次	英本國	英領	合衆國	獨逸	佛國	其他	合計
一八七六	一三三・三	三・四	四七・六	三七・八	一六・四	三三・一	二六一・六
一八八六	一七七・五	六・九	一〇一・五	五七・一	一九・一	三〇・四	三八二・五
一八九六	一九五・四	一四・一	一七一・四	八四・三	二六・三	三六・九	五五二・四
一九〇六	二二一・一	三三・〇	三六九・八	一二四・九	三三・九	九〇・八	九二一・五
一九一〇	二六四・四	四一・九	四四七・八	一五〇・四	三七・〇	八三・三	一〇三三・九
一九二一	二七一・九	四二・二	四四三・〇	一三九・二	三六・〇	五五・七	一〇二九・〇

英本國、獨逸及び佛蘭西に於ける千九百十一年中の石炭發掘は是迄に無き多量に達しけるが白耳義に於ける產額は最近六ヶ年中の最低額を示したり。合衆國に於ける千九百十一年中の產額は千九百十年の產額に及ばざること四百七十五萬噸なりしが、十年以前の產額と比較すれば、多大の增加なり。千九百六年より千九百十年に至る迄の前記諸國に於ける平均一年の產額は八億七千萬噸にして、此五年間に於ける年產額の增加は一億六千萬噸なりとす。此增加量の中一億三百萬噸は合衆國、三千二百七十五萬噸は英國、三千五十萬噸は獨逸の增加額なり。而して、全世界に於ける石炭總產額の中英國本國は四分の一以上を產出し、合衆國は五分の二以上を產出す。又、英國に於ける一人當りの產額は前記四ヶ國に於ける一人當りの產額より多し。千九百十一年中に於ける平均一人當りの產額は卽ち次の如し。

英本國	六噸	合衆國	五噸
白耳義	三噸	獨逸	二噸強
佛蘭西	一噸		

千九百十年中英國に於て採炭業に從事せし者は一〇二七・五六〇人にして、從業者一人當りの產額は二百五十七噸なり。此從業者一人當りの產額に於ては英國は前記五ヶ國の第二位に居るも、合衆國の平均卽ち六百十八噸には遙かに及ばざるの觀あり。斯くの如く英米間に於て從業

者一人當りの産額に大なる差を生ずるの一原因は炭鑛の年齢の相違なりとす。如何となれば英國に於ては發掘し易き炭鑛は漸次涸渇し、採掘は益々困難となる一方なるも、合衆國の炭鑛は比較的に新らしきものなるを以てなり。飜つて過去十年間に於ける英領地の石炭産額を見るに左の如し。

英領地の石炭産額　單位百萬噸

年次	英領印度	濠洲	ニュー、ジーランド	加奈太	南阿
一九〇一—五（平均）	七・三六	七・〇四	一・四三七	六・九三五	二・七六六
一九〇六—一〇（平均）	一一・五三五	九・三六三	一・九〇七	九・七四五	五・二三七
一九〇九	一一・八七〇	八・一八六	一・九一一	九・三七六	五・五三四
一九一〇	一二・〇四七	九・七九九	二・一九七	一一・五二六	六・三三一
一九一一	一二・七二六	一〇・五三〇	二・〇六六	一〇・〇八一	六・七〇

一九〇六—一〇年間に於て印度の産額は其年間の前の五ヶ年の産額と比較すれば五一%の增加、濠洲の産額は三一%の增加、ニュー、ジーランドの産額は二三の增加、加奈太の産額は四一%の增加、南亞の産額は八五%の增加を示したり。一九〇六—一〇年間に於て南亞産額が激增したるが如く見ゆるは南亞戰爭中に於ける同地の産額と比較せるが爲めなり。

飜つて石炭の價格を考究するに、英國に於ける一噸の價格は炭鑛に於て一九〇一—五年の五年間は七志一〇・二五片、一九〇六—一〇年の五年間は八志三・七五片にして、一九一一年には八志一・七五片なりき。合衆國に於ける價額は此三年間に於て五志一〇・七五片、五志一〇片及び五志一〇・七五片なりき。之に反して、獨逸に於ては最初の五年間に一年の平均價額八志九・片なりしもの、次の五年間には九志一〇・二五片に上り、一九一一年には九志九・二五片七となれり。石炭の價額の變動が斯くの如く輕微なりしは、本世紀の始より物價及び賃銀が一般に騰貴せるの事實に想到せば、注目に値すべきことなりとす。然りと雖も、一九一二年に於ける石炭の價額の統計の發表せらるゝに至らば、平均價格は

多分餘程騰貴せるを發見すべく、殊に英國に於て然るを知るならん。他の諸國に於ては石炭の價格に對して最も重大なる影響を與ふるものは各其地方に於ける石炭の需用供給の關係なるも英國に於ける價格は、石炭の輸出が多量に上れる爲めに、他の種々なる原因に依りて定まるものなりとす。合衆國に於ける石炭の相場が左程動搖せざるの一原因は實に該國の石炭輸出が比較的少量なるを以てなり。又、石炭の輸出國としては英國は優に第一位を占め、一九一一年には八七・〇八一・〇〇〇噸を輸出し、獨逸は三六・六三四・〇〇〇噸、合衆國は一八・九五六・〇〇〇噸を輸出せり。加之、獨逸は一九一一年中に一一・九〇七・〇〇〇噸（此四分の三は英國より輸出さる）を輸入せるも、英國の輸入は僅かに四一・〇〇〇噸に上りたるのみなりき。此三ヶ國以外に、日本、墺太利、南亞、英領印度及びニュージーランドの輸出量は各其の輸入量に超過せり之に反して、白耳義は七・二四〇〇〇噸を輸出したれども、該國の輸入量は之に超過すること一・四四三・〇〇〇噸にして、佛蘭西は又二〇・八二七・〇〇〇噸を輸入せるも其の輸出量は一・七一七・〇〇〇噸に過ぎざりき左表は一八八六年以後に於ける英國、獨逸、合衆國及び白耳義の輸出量を示すものなりとす。

石炭の輸出量　單位百萬噸

年次	英國	獨逸	白耳義	合衆國
一八八六	三〇・三六二	九・六六一	五・九三三	一・二六
一八九六	四四・三六七	一五・二四六	六・三九八	三・六三六
一九〇六	六六・七六八	二五・八〇七	六・七〇四	九・九一三
一九一〇	四四・五四二	三三・三九八	七・〇七七	一五・二七一
一一九一	八七・〇八一	三六・六三四	七・二四〇	一八・九五六

產額に比較せば、獨逸の輸出額は最大の增加を見るに反し、合衆國の產額の夥しきにも拘らず、其の輸出量は僅少なり、英國の輸出は尙ほ漸次增加しつゝあり、唯千九百十二年には鑛夫同盟罷工の爲め多少減少せり。突飛の意見を有せる專門家は英國が無謀にも炭鑛を濫掘しつゝ

ありと悲觀し、且つ關稅改正論者は石炭の輸出を以て英國の富をば外國人の利益の爲めに國外に輸送するものに外ならずと看做せりと雖も、吾人は石炭輸出の增加を以て健全なる經濟上の發達を意味するものなりとして之を歡迎するものなり。最近に於ける政府の調査に據るに英國の石炭の供給は尙ほ新百年間は不足するが如きことなかるべく、且つ必ずや機械工學の進步發見に依りて現今不經濟なる消費方法を用ゐて石炭に含有せらるゝエネルギーの一割五分乃至二割を利用しつゝあるのみなるを近き將來に於て一層多くのエネルギーを利用することを得るに至るべし。加之、石炭の輸出は產國の產業に必要なる原料品を輸入する商船の往航に積荷を供給し、航海業を利するの便あり。若し英國にして石炭を輸出せざらんか、此等の商船の往航は不利益となり、從つて歸航に於ける運賃は比較的高率ならざるを得ず、而して運賃の引上は英國に輸入する原料品の價格を騰貴せしむるの結果を呈すべし。

終りに全世界に於ける石炭の消費に關する統計を揭げんと欲す。次表は產額に輸入額を加へ、此和より輸出額を差引たるものなりとす。

世界石炭消費額　單位百萬噸

年次	英本國	英領	合衆國	他の諸國	合計
一八八六	三三〇・一六八	六・〇三三	一〇一・一〇八	二二六・一〇一	三四九・四九九
一八九六	一四〇・七〇	一〇・八四五	一六九・〇三三	一七〇・三六一	三〇〇・九六八
一九〇六	一五三・三六一	二四・〇一〇	三六一・六〇二	二三五・八七七	八三五・八四〇
一九一〇	一九〇・九三九	四三・四九	四三四・八三三	二九三	四七四・九三・六四四
一九一一	一八四・八九	四八・九〇〇	四三五・四三三	二九八・七一〇	九七七・八九二

此表に示す消費總額は前表に示せる產出額よりも餘程少し。此差は多少石炭の分類上に於ける各國間の習慣の相違に因るものなるも、主として、莫大なる汽船の消費額の爲めに生ずるものなりとす。合衆國の消費額は英本國の消費額の約二倍と三分の一にして一人當りの消費額も亦多し。瑞典に於ける消費額の八七は英國の輸入に係り、獨逸の輸入額の七五％幷に佛蘭西の輸入額の四五％は英國より輸出せるものなり。西班牙も亦近年其の消費額の三八乃至三八％を英國より輸入せり。

批評と紹介

田中萃一郎選 歐米の政黨政治

大正二年三月慶應義塾出版
中判二百十八頁　定價八十錢

本書は、本年初春に於ける憲政の危機に際して、國民の政治的識見を高むるの一資料たらしめんが爲めに著述上梓せられたるものなり。著者は冒頭政黨の性質を明かにし、且つ政黨の必要なる所以を說明し、轉じて、英、米、佛、獨の四ヶ國に於ける政黨政治の濫觴に筆を起し、其發達の經路を論じて現狀に說き及ぼし、且つ各其長所と短所を指摘せり。終りに結論として我國の政黨の現狀に論及し、同志會に對して桂公を放逐せんことを慫慂し、猶ほ附錄として卷尾に英國最近政變の一節を加へたり。

全篇明快なる叙述簡にして要を盡せり。僅々二百頁の一小冊にして、四强國の政黨政治の眞髓を穿ちて餘蘊なかしむるもの蓋し本書を措きて他に之を求むべからず。

日本には日本特有の國體、歷史、慣習、民族心理ありて、外國に於て成功せるもの必ずしも我國に於て成功せず、又外國に於て失敗に歸せしもの必ずしも我國に於て失敗すべしと云ふ能はざる也。然りと雖も、憲政少くとも其形式は輸入品なるを以て、若し憲政の發達を計らんと欲せば、宜らく其形式が夫れを生みたる地に於て如何に發達し、如何に運用せられ、如何なる特色と如何なる弱點を有すに至れるかを知るの緊要なることは玆に贅言するの要なけん。而して本書は能く此知識を讀者に提供せるものなり。